

自身が撮影した作品を  
紹介するトムソンさん

# 札幌の魅力的景観 NZ 留学生発信

## 都市と自然 チカホで上映

若手芸術家を支援する札幌市中央区のNPO法人サリポロ(山形有祐代表)が、市内の夜景や朝焼けを撮影した作品を札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)の大型画面で上映している。来年、初めて開かれる札幌国際芸術祭のテーマ「都市と自然」を表現しており、通行人の目を引いている。(尾張めぐみ)

### 国際芸術祭ちなみ 大型画面で

撮影者はニュージーランドから留学中の北大大学院生で、メディアを使った芸術作品を制作しているロバート・トムソンさん(33)。芸術祭にちなんだ作品で市民や観光客に札幌の良さを伝えようと、サリポロの助言を得て撮影場所を選択し、10月に約2週間をかけて撮影した。

デジタルカメラで数秒おきに撮った画像を連続させて映像のように編集する「タイムラプス」の手法で、2分間の作品にまとめた。中央区の幌平橋から眺

めるネオン、列車が次々と行き来するJR札幌駅をはじめ、伏見の高台では寝袋を持ち込んで朝焼けを撮影した。トムソンさんは「地下にいながら外の景色の良さに気付くきっかけになれば」と話す。

